

強者の戦略

論述世界史〔2013年 京都大学 第3問〕

こんにちは、世界史の北林です。今回は京都大学の問題です。京都大学では、しばしば、2国間の関係の変遷を問う問題が出題されます。英仏関係、独仏関係など。今回は「露仏」関係です。19世紀の間、戦争があれば同じ陣営にいたり、また対立をしたりします。少し丁寧に19世紀の歴史を振り返りながら取り組んでみましょう。

【2013年度 京都大学 前期 第3問】

フランス革命以降、フランスとロシアはしばしば敵対関係におちいったが、第一次世界大戦では両国は連合国の主力として、ドイツを中核とする同盟国と戦うことになる。ウィーン会議から露仏同盟成立に至るまでのフランスとロシアの関係の変遷について、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

300字ですので、文章を完成させるまでに時間がかかります。時間が無い方は、文章作成前の段階の、構想をまとめたメモを作ってみましょう。その際、教科書類など何を見てもかまいません。